

■とちぎボランティアNPOセンター 平成27年度事業報告書

平成27年度は、とちぎ協働デザインリーグが当センター（以下、ぽ・ぽ・ら）の管理運営を受託して9年目であり、公募審査を経た初年度に当たっている。前年度までの事業遂行を勘案して、ぽ・ぽ・ら運営の基本コンセプトの実現に向けて下記のとおり、取り組んだ。

■ぽ・ぽ・らの基本コンセプト（自立支援、多様な主体の協働、社会貢献活動への参加支援等）に基づき、時代の潮流を捉え、共助社会実現に向けた社会貢献活動に係る次世代育成等、各種の事業を行うため、運営にあたり次のようにテーマを定めて取り組んだ。

平成27年度テーマ：共助社会に向けて くつなぐ・育てる・高める

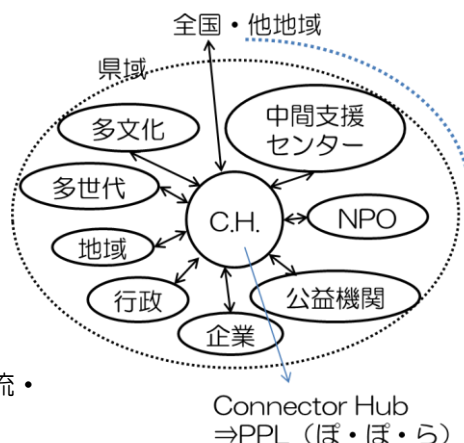
平成27年度サブテーマ：ぽ・ぽ・らのコネクターハブ機能の強化

■基本コンセプトに基づく、ぽ・ぽ・らの基本的な機能は以下のとおりである。

1. 交流拠点機能
2. 情報受発信機能
3. 相談・協働コーディネート機能
4. 調査・研修・育成機能
5. 交流・ネットワーク推進機能

ぽ・ぽ・らは県域センターとしての要（かなめ）・中継地（ハブ）としての役割強化を目指す。

サブテーマ「ぽ・ぽ・らのコネクターハブ機能の強化」は、「交流・ネットワーク推進機能」を特出して強調したものである。



※コネクターハブ：企業用語。地域内取引関係の中心（ハブ機能）となっているとともに、他地域と取引をつなげているコネクター機能を有する企業を指すことから転用。

I. 平成27年度の重点事項への取組状況

(1) 県内中間支援センターへの支援、市町支援センター設置の促進

- ① 中間支援センター間の連携・協働、職員研修、情報提供
■Ⅱ-5（1）中間支援センター連携推進会議・スタッフ研修の開催
- ② 新設（予定）中間支援センターへの支援（検討段階からの支援含む）
■Ⅱ-5（2）中間支援センター未設置市町の支援

(2) 多様な主体（団体も含む）間の連携・協力体制の強化

- ① NPO ボランティア団体、企業、経済団体、社会福祉協議会、コミュニティ等組織間の連携・協力体制の強化
- ② 各県域団体等と市町中間支援センターとの連携・協力体制の強化
■Ⅱ-5（3）とちぎ協働推進研究会の開催

(3) 社会貢献活動に係わる団体、人材の育成

- ① 団体をマネジメントする人材の育成
■Ⅱ-4（1）NPO マネジメントセミナー
■Ⅱ-4（4）若者の社会貢献活動促進
- ② 人材情報の関係機関相互での共有
■Ⅱ-5（5）テーマ別 NPO ミニサロン

(4) 社会貢献活動の全国動向に関する研修

- ① 参考事例及び先進事例、他県センター等の情報収集
■Ⅱ-4（2）運営スタッフの研修
- ② 収集情報の県内へのテーマ別発信
■Ⅱ-2（1）～（3）センター情報誌・事業報告、HP、SNS、メルマガ、Ⅱ-5（1）中間支援センター連携推進会議・スタッフ研修の開催

II. 具体的な事業

() ...前年同時期の件数 以下同様の表記

II-1. 施設管理等業務

(1) 施設・設備等利用受付

- ▶ 来館者数：16,103 名 (18,012)
- ▶ 研修室利用者数：7,032 名 (6,407)
- ▶ 研修室利用件数：897 件 (798)
- ▶ 作業室利用件数：187 件 (258)
- ▶ パソコン利用件数：48 件 (63)

(2) 利用団体の登録業務

- ▶ センター利用登録団体：400 団体 (384)

(3) メールボックス及びロッカーの管理運営

9 月にメールボックス及びロッカー利用についての更新（継続、変更）確認を実施した。

- ▶ メールボックス登録団体：28 団体 (32)
- ▶ ロッカー登録団体数：53 団体 (57)

■ 平成 27 年度センター利用状況

図表 1：とちぎボランティアNPOセンター来館者数(月別)



II-2. 情報収集・提供等業務

他県の先進事例等を収集し、ホームページやメルマガで発信を行う他、ブログや SNS を活用しタイムリーな情報発信の充実を図った。

(1) センター情報誌・事業報告の発行

発行頻度：年 1 回、体裁：A4 カラー21 ページ、発行部数：300 部、主な配布先：県内外中間支援センター、市町 NPO 担当課、関係団体など

(2) ホームページ・SNS の充実（データベース有効活用/Facebook、ブログ等活用）

ホームページや SNS を活用し、災害関連情報、各団体イベント情報、助成金情報など、より新しい情報を提供した。

- ▶ ホームページ閲覧数：36,463 件 (36,232)
- ▶ データベース登録団体数：560 団体 (551)
- ▶ データベース個人登録数：9 人 (8)
- ▶ Facebook：5 月 13 日開設、投稿件数 139 件、「いいね」333 人、最大閲覧記事「災害関連情報 5 件、リーチ数 2379 人、いいね 84 件、シェア 30 件

(3) メールマガジンの作成及び提供（隔週）

ボランティア・NPO など、社会貢献活動に関する情報や話題を、広く多くの方に提供し、理解促進と社会貢献活動へのきっかけづくりを行うため、

メールマガジン「ぼ・ぽ・ら通信」を月 2 回配信した (No.275～No.323)。

- ▶ 登録者数：1,270 名 (1,040)

(4) 分野別団体情報の収集提供

新聞各紙に掲載されている栃木県内の社会貢献活動団体についての記事を、分野別に収集し、他の団体情報や NPO 法人定款・事業報告と合わせて配架することで、栃木県内ボランティア NPO の情報提供の充実を図った。

(5) 社会貢献活動関連文献・資料の収集、分類、貸出

- ▶ 所蔵図書：1,660 点 (1,635)
- ▶ 新規図書購入：12 点 (21)
- ▶ 寄贈図書：13 点 (47)
- ▶ 貸出件数：10 件 (13)

(6) ぼ・ぽ・らサポーターによる協働に関する地域情報の収集・発信

県内の地域おこし協力隊の情報収集を行った。

(7) イベント情報・助成金等情報の収集発信・整理

- ▶ イベント情報掲載件数：802 件 (564)
- ▶ ボランティア情報掲載件数：28 件 (31)
- ▶ 助成金情報掲載件数：99 件 (85)

II-3. 相談・コーディネート業務

運営スタッフ・専門家による相談・コーディネートの充実を図った。

(1) 運営スタッフによる相談・コーディネート

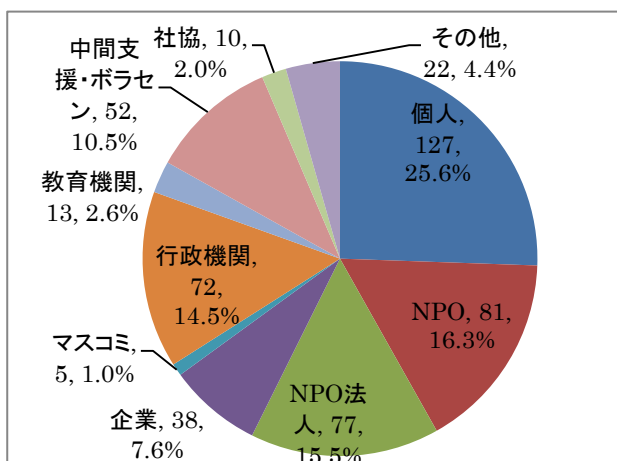
相談対応のための情報の収集・整理を進め、スタッフの対応能力向上に努めた。また、個人情報の保護については細心の注意を払っている。

▶ 相談件数：497 件（370）

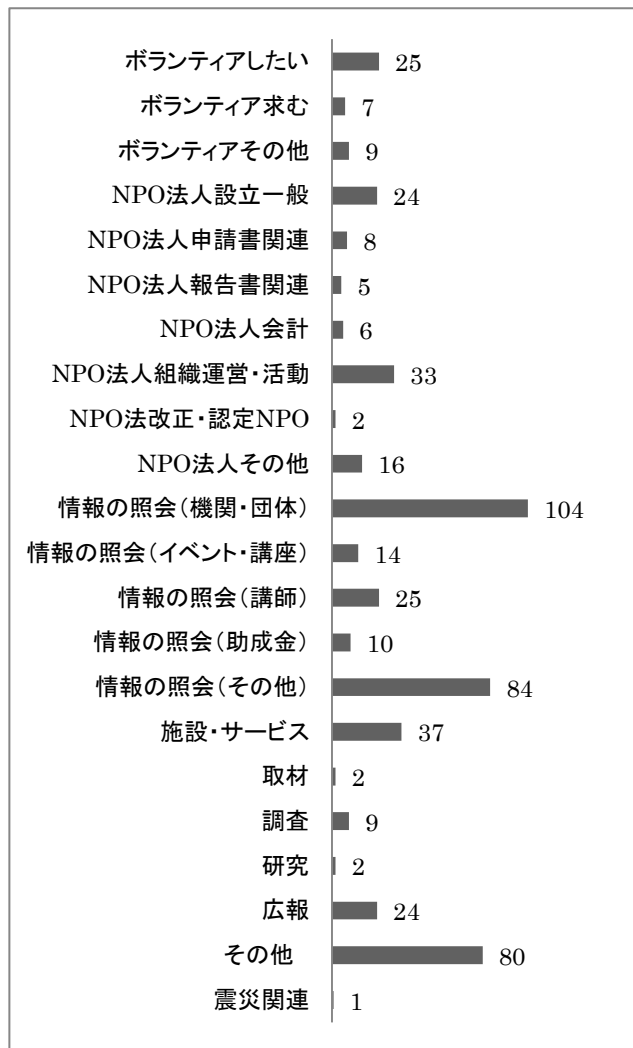
■ 平成 27 年度相談居住地域



■ 平成 27 年度相談者所属



■ 平成 27 年度相談要件



【ぼ・ぽ・ら会】

趣旨：相談・コーディネート業務を通じて、センター来所者（団体）同士が自主的に立ち上げた「ぼ・ぽ・ら会」は、成年後見制度を中心テーマに据え、ゆるやかな意見交換・情報交換をする場である。

平成 24 年 4 月に発足し、27 年度は、運営体制を整備し自立に向かった。

日時：第 3 木曜日 15：00～

会場：ぼ・ぽ・ら

参加者（所属）：ナルク栃木、栃木県健康管理士会、NPO 法人市民後見とちぎ、やいた市民後見人の会、（社福）宇都宮市社会福祉協議会、（一社）地域サポーターダークの会、司法書士、NPO 法人成年後見センターフォレスト、栃木ライフサポート、税理士会等

(2) 専門家による相談コーディネート

① 【会計税務専門家相談会】

趣旨：多くの法人が会計、税務、労務等の事務処理に疑問や不安を抱えていることから、これらを支援

するため、関東信越税理士会栃木県支部連合会公益活動対策部の協力のもと、会計税務相談を実施する。

【第1回】

日時：6月3日（水） 13:30～16:15

協力税理士：堀江 智氏

参加団体：2 団体（NPO 法人：2）

【第2回】

日時：11月5日（木）13:30～16:15

協力税理士：小林 寛氏

参加団体：1 団体（NPO 法人：1）



②【NPO 会計基礎講座～簿記から始める会計～】

趣旨：NPO を立ち上げたばかりの団体や会計初心者を対象に、NPO の会計に関する悩みの解消を目指すことを目的に、会計の基礎となる簿記から学ぶ講座を開催する。

【第1回】会計の基礎、簿記から学ぶ

日時：12月1日（火） 10:00～12:00

内容：会計の目的、現預金の管理、会費・寄付・補助金など

会場：ぽ・ぽ・ら

講師：安納宏和（税理士／とちぎ協働デザインリーグ監事）

参加者：20 名

【第2回】勘定科目、事業費と管理費【第3回】決算、活動計算書に挑戦については、事情により中止とした。



成果と課題

相談会での内容は、税金や労務に関すること、会計処理全般についてなど、多岐にわたっていた。また、会計担当者の悩みを共有し解決できる場として、講座開催を求める声が多く寄せられた。今後も相談会と講座を継続的に実施することで専門家に相談できる場をつくり、ニーズに応えていく必要がある。

(3) 運営スタッフの定期的勉強会・スタッフミーティング

定期的にスタッフミーティングを実施し、業務進捗確認や相談事例の共有等を行った（年 18 回実施）。運営スタッフの勉強会では、「コミュニティワーカーについて」、「運営スタッフの相談力 up に関する研修報告」、「多様な主体間の協働に基づくグリーンツーリズムネットワーク構築に向けた研究報告」等のテーマについて知識を深めた。

II-4. 研修・調査研究業務

大学や他団体等との協力体制を深め、ボランティアや NPO の組織力・財政力を強化するためのセミナー等を開催した。多様な主体間の協働方策について等、調査研究の成果をボランティア NPO、中間支援センター等に還元することを重視し、意欲的に取り組んだ。

(1) NPO マネジメントセミナー

趣旨：NPO の組織基盤を強化することを目的に、「NPO の事務力」、「会計」、「資金調達」等をテーマにマネジメントセミナーを実施する。

①【新地域支援事業セミナー】

II-5(1) 中間支援センタースタッフ研修と兼ねて実施。（P6 参照）

②【第1回 NPO 事務力 up セミナー】

趣旨：NPO の事務力を高めることで、組織基盤を構築し、NPO の活動を活性化し信頼度を向上することを目的とする。

日時：8月5日（水）13:30～16:30

会場：ぽ・ぽ・ら

参加者：20 名

内容：NPO の事務って何をするとこ？、そもそも NPO って何だ？、所轄庁と法務局手続、『手引き』にはあまり書かれていないあれこれ

【第2回 NPO 事務力 up セミナー&事務力検定】

日時：8月21日（金）10:00～15:40

会場：ぽ・ぽ・ら

参加者：21 名

内容：NPO 基礎・所轄庁・登記、雇用と給与計算、NPO 会計

③【助成金にチャレンジ 選ばれるコツ】

Ⅱ-5 (3) とちぎ協働推進研究会第 2 回拡大研究会と兼ねて実施。(P7 参照)

④【NPO 会計基礎講座～簿記から始める会計】

Ⅱ-3 (2) 専門家による相談コーディネートと兼ねて実施。(P4 参照)

成果と課題

「NPO の事務力」、「会計」をテーマとしたセミナーでは、初任者にもわかりやく基礎から学べる内容だったので、日頃の疑問に対し具体的な解決のヒントが得られすぐに実践に活かせるとの声も多く好評だった。資金調達の部分では、助成金にテーマを絞り企画したが、このテーマは多くの NPO の課題であり要望も多いため、今後は、様々な資金調達について学び組織力を高める研修を実施したい。



(2) 運営スタッフの研修

(P6 職員研修参照)

(3) ボランティア・NPO 入門講座（講師派遣等）

地域や NPO、行政、企業等からの要請を受け、ボランティアや NPO についての理解を深めることを目的に、入門講座を実施した。

①【緑化ボランティア養成講座】

日時：7月9日（木）9:30～12:00

会場：宇都宮市緑の相談所講習室

内容：ボランティア活動をはじめよう

対象：地域での緑化活動希望者

②【総合型地域スポーツマネージャー養成講座】

日時：9月27日（日）13:00～14:30

内容：NPO 法人格取得について

会場：総合教育センター

③【シニアサポーター養成研修】

栃木県高齢対策課との共催により実施

【第 1 回】

日時：8月19日（水）13:30～14:30

会場：県庁6階大会議室

内容：ぼ・ぽ・らの紹介他

【第 2 回】

日時：9月2日（水）10:00～16:00

会場：県庁6階大会議室

内容：これからの私たち 挑戦と成長と歓びと！

④【みやシニア地域デビュー講座】

日時：10月23日（金）10:00～12:00

会場：宇都宮市みやシニア活動センター

内容：わたしの魅力 あなたの元気

みつけて みがいて かがやかす

⑤【協働ネットワークシンポジウム-群馬県】

日時：10月26日（月）13:30～16:30

会場：群馬県社会福祉総合センター

内容：出会ってもらうために～連携を創造する取組
パネルディスカッション

⑥【市民参加論】

【第 1 回】

日時：12月17日（木）10:40～12:10

会場：作新学院大学

内容：ボランティア・NPO 入門編

【第 2 回】

日時：1月7日（木）10:40～12:10

会場：作新学院大学

内容：NPO・ボランティアを通して市民参加を考える

⑦【協働のまちづくり研修会】

日時：12月18日（金）11:00～12:00

会場：野木町役場

内容：野木町の協働を考える

(4) 若者の社会貢献活動促進

①【高校生まちづくり会議】

②【トビタテ留学生 JAPAN 研修受入】

趣旨：県内大学から派遣留学生研修を受入れ、県内企業等での地域インターンシップを組み合わせた調査研修を行う。

【調査 1 日目】

日時：7月10日（金）10:00～16:00

会場：ぼ・ぽ・ら

内容：NPO とは、協働とはについて説明

【調査 2 日目】

日時：7月14日（火）15:00～16:00

会場：日産自動車 上三川工場

内容：企業の CSR 活動について担当者と面談

【調査 3 日目】

日時：7月22日（水）14:00～15:00

会場：株式会社湯原製作所

内容：企業の CSR 活動について工場見学

【調査 4 日目】

日時：7月24日（金）10：00～12：00
 会場：有限会社飛行船
 内容：企業のCSR震災復興支援活動について
 【調査5日目】
 日時：8月11日（火）10：00～14：00
 会場：ぽ・ぽ・ら
 内容：事前研修のまとめ、海外研修の目的



(5) NPO、企業、行政の協働に関する調査研究

(6) コミュニティづくりに関する調査研究

テーマ：「共助のかねめになる地域組織」

平成28年2月に策定された「栃木県社会貢献活動の促進に関する施策の基本方針（平成28年～32年度）の基本目標は「地域をともに支え時代を創る」～協働で創るとちぎの共助社会～である。

【職員研修】

そこで多様な主体間での協働事例を収集整理し、

NPO が共助の要となって地域を支えている先進事例である島根県雲南市の活動に着目した。

成果と課題：共助だけでは、共助社会は成り立たない。自助、共助、公助がそれぞれに力を発揮し協働することが重要である。「営利追及だけではゆがむ、ボランティア活動だけでは疲れてしまう」そこをバランス良く調整している NPO 法人ふるさと雲南のあり方は、県内 NPO にとってもモデル事例となり得る。

II-5. 交流・ネットワーク推進事業

県域センターとしての機能強化を図るため、研修会等を市町中間支援センター等とともに企画実施する他、「とちぎ協働推進研究会」等の機会を通じて県域団体、中間支援センター等との交流を図り関係を強化した。

(1) 中間支援センター連携推進会議・スタッフ研修

趣旨：県内の中間支援センター間の情報共有、連携強化を図ることを目的に、現場で抱えている課題解決に向けての実務者の会議として開催。併せて、互いに学び合いより良い支援につなげることを目的に、スタッフ研修を実施する。

①【第1回責任者会議】

日時：6月5日（金）13:30～16:10

会場：ぽ・ぽ・ら

参加者：13 センター21 名

内容：

平成26年度中間支援センター連携推進会議報告
 ・各センター及び県の今年度の体制、事業計画

期日	研修先＜用務先＞	主催	場所
27/5/28	シンポジウム「日本の非営利セクターを支える2つの法人格選択の現状と今後のあり方」	公益財団法人公益法人協会 認定特定非営利活動法人日本 NPO センター	東京
6/20	栃木県経済同友会助成金プレゼンテーション	栃木県経済同友会	宇都宮
6/29	マネジメント人材育成支援に関する調査結果報告会	内閣府	東京
7/17	「協働・NPO・ボランティア」理解促進講座	栃木県	宇都宮
7/28	支援力アップ塾「相談を受ける力」	東京ボランティア・市民活動センター	東京
10/15	AED 講習	栃木県	宇都宮
10/19	NPO のためのマイナンバー制度対策講座	日本財団	東京
10/19	セオリー・オブ・申請～助成金申請書から考える申請の仕方～	日本財団	東京
10/26	マイナンバー講座	宇都宮市まちづくりセンターまちびあ	宇都宮
11/10	平成27年度 SR/ISO26000 セミナー	経済産業省/日本規格協会	東京
11/13	支援力アップ塾/組織マネジメント編	東京ボランティア・市民活動センター	東京
11/16	平成27年度栃木県本庁舎防災訓練	栃木県庁	宇都宮
11/13	JICA 筑波「JICA 現地アドバイザーによる海外投資セミナー」	JICA 筑波	宇都宮
11/13	支援力アップ塾/組織マネジメント編	東京ボランティア・市民活動センター	東京
11/27	支援力アップ塾/組織マネジメント編	東京ボランティア・市民活動センター	東京
12/11	支援力アップ塾/組織マネジメント編	東京ボランティア・市民活動センター	東京
28/1/7	協働コーディネーター講座	栃木県県民生活部	宇都宮
2/18	企業と NPO の協働のカタチ講演会	日本 NPO センター／損保ジャパン日本興亜	東京
3/5	栃木県経済同友会助成報告会	栃木県経済同友会	宇都宮

- ・平成 27 年度中間支援センター連携推進会議計画
- ・中間支援センター連携推進会議への要望について
- ・意見交換
- ・ミニ研修会

「新地域支援事業」の概要について

青田賢之氏（かぬま市民活動広場ふらっと代表）

②【第 2 回スタッフ研修「新地域支援事業セミナー」】

趣旨：介護保険の改正に伴う国の新しい施策「新地域支援事業」では、介護保険で実施されている事業の一部を地域で担い、地域での包括的な支援体制づくりを進めていくことが求められている。多様な立場の方が共通の課題について理解を深め、つながるきっかけづくりを目的に、合同の研修会を実施する。

日時：6月26日（金）10:00～16:00

会場：ぽ・ぽ・ら

講師：青田賢之氏（かぬま市民活動広場ふらっと代表）

参加者：40 名

内容：

- ・新地域支援事業セミナー ～市民の支え合いによるまちづくりに向けて～
- ・質疑応答
- ・グループワーク



③【第 3 回スタッフ研修「相談力を高めよう」】

趣旨：中間支援に寄せられる様々な相談ケースにどのように対応するか、日頃の相談対応を振り返りながら、相談を受ける側に必要な姿勢と能力等、相談対応のベースとなる基礎知識について確認し、相談力を高めることを目的に研修会を実施する。

日時：10月1日（木）13:30～16:30

会場：ぽ・ぽ・ら

参加者：7 センター10 名

内容：

- ・研修報告 東京ボランティア・市民活動センター主催、地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 実務ステップ編「相談を受ける力」
- ・相談業務についての意見交換

- ・グループワーク「ケース検討」

ケース検討についての説明後、日光市民活動センターからの相談事例「相談者の意欲に応える相談対応とは」をケース検討した。

(2) 中間支援センター未設置市町の支援

栃木県主催「市民活動センター活動状況現地見学会」に参加し、ぽ・ぽ・らの概要、県内中間支援センターの状況について説明した。

日時：10月13日（火）9:00～15:45

見学先：宇都宮市まちづくりセンターまちびあ、とちぎ市民活動推進センターくらら

成果と課題

セミナーを通して多様な主体が横断的につながるきっかけづくりとなった。今後も中間支援センターと行政や社会福祉協議会等の多様な主体の協働を視野に入れてこのような機会をつくっていききたい。

「相談研修」は、定期的な事例検討会の要望を受け企画した。他センタースタッフと交流を図りながら、日頃疑問に思っていること等を自由に意見交換でき、定期的に実施してほしいとの声が多かった。センターの多くが相談に関する研修を設けていないという現状を踏まえ、今後もニーズに応え、相談力を高めるための研修を充実していきたい。

(3) とちぎ協働推進研究会

趣旨：企業・行政・地域・NPO 等、多様な主体間の協働について、その推進に寄与する。また、経済団体、メディア、中間支援センター等をメンバーとし、ネットワークを強化する。

①【第 1 回とちぎ協働推進研究会】

日時：9月16日（水）13:30～16:00

参加者：18 名

内容：

- ・平成 26 年度企業と NPO 等との協働相談会フォローアップ報告
- ・平成 26 年度の活動について

②【第 2 回とちぎ協働推進研究会（拡大研究会）】

成果と課題

企業と NPO 等とが地域づくりの協働パートナーとして活動しはじめた事例の追跡調査をし、その結果（現状）について、情報共有することができた。

助成金説明会では、本会のメンバー団体の発表の場をもつことができた。参加 NPO の反応として、助成金を活用することの意義や、その後の活動について考えを深める場となった。



(4) イベント等の参加による広報・宣伝活動

期日	イベント名・展示内容	会 場
6/15	県民の日記念イベント	栃木県庁本館 1 5 階 南側
11/29	とちぎ県民協働フェスタ	ラスクエア宇都宮 2 階 ペデストリアンデッキ
11/21 ～ 11/28	ぼ・ぼ・ら及び県内市町中間支援センターの広報宣伝	栃木県庁本館 1 階 企画展示コーナー

【職員派遣（下記参照）】

(5) テーマ別 NPO ミニサロン

II-6. その他 災害対応

9 月 10 日（木）に発生した台風 18 号による大雨被害に関して、下記のとおり災害対応を行った。

■相談対応（随時）

■災害関連情報収集提供

【職員派遣】

交流ネットワーク推進の一環として、職員を派遣する

事業名	役割	担当
宇都宮市民大学運営協議会	委員	小針
平成 27 年度市町 NPO・協働担当者等会議		阿久津
栃木県住生活支援協議会		小針
栃木県社会福祉協議会評議員会	評議員	小針
災害ボランティアネットワーク会議（栃木県社会福祉協議会）		横塚
栃木市助成審査、とちぎ夢ファーレ実績報告会	審査委員	小針
栃木県社会貢献活動促進懇談会		小針・旭山・阿久津・小林
栃木県生涯現役応援会議		小針
NPO と行政とのテーマ別意見交換会（栃木県）		小針・横塚
宇都宮市まちづくりセンター貸しオフィス審査会、まちびあオフィス報告会	審査委員	小針
栃木県社会貢献活動人材ネットワーク会議		旭山
花王助成金贈呈式		旭山
宇都宮市みんなでまちづくり会議	委員	小針
とちぎユースワークカレッジ修了式		旭山
ボランティアと外国人住民のマッチング検討会議	委員	小林・横塚

センターHP、Facebook、ブログ、メルマガを活用した災害関連情報の発信

- ・災害ボランティアセンター立上げ状況、ボランティア募集情報一覧の作成・提供
- ・全国社会福祉協議会・栃木県社会福祉協議会からの災害情報を HP 等にて情報発信
- ・義援金、活動支援金等の情報収集・提供

■かぬま市民生活復興センター活動への参加協力

かぬま市民活動広場ふらっとが事務局となり、NPO 法人トチギ環境未来基地と NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークが協力し、かぬま市民生活復興センターを立ち上げた。

当センターも 4 回にわたり活動に参加、活動報告とともに現状を Facebook 等で情報発信し、ボランティア募集を呼び掛けた。

